

令和5年度短期研修日程(案)

通し番号	項目	主な内容	開催日		考え方
			令和4年度	令和5年度	
1	森林・林業の基礎	森林・林業の基礎知識、優良林業事業者・木材市場等現地研修、森林・林業施策における市町村の役割等	令和4年4月27日～28日	令和5年4月24日～25日	時期は継続（第1四半期） 会場が長期研修の就職ガイダンスとかぶらないように考慮
2	森林整備事業の実務	森林整備事業の概要、ふくしま森林再生事業・広葉樹林再生事業、森林整備発注業務の実務、航空レーザー計測の林業への活用	令和4年5月11日	令和5年5月11日	時期は継続（第1四半期）
3	測量・森林調査の基礎	測量・作図実習、森林調査実習	令和4年8月1日～2日	令和5年5月24日～25日	令和4年度は8月に行い、厳しい暑さの中での研修となったため、夏を避けることとした 本研修で学ぶ内容は基礎的なものであり、上半期に習得することが望ましいため、春に実施することとした 使用機材や場所が長期研修とかぶらないように考慮した
4	森林計画制度	森林計画制度、市町村森林整備計画の実行管理（森林経営計画、林地台帳、伐採届、森林土地所有者届）、森林境界明確化等	令和4年6月6日～7日	令和5年6月6日～7日	時期は継続（第1四半期）
5	森林土木事業の実務	森林土木事業の概要（治山・路網） 林道施設災害復旧、監督業務におけるポイント、設計積算演習	令和4年5月26日～27日	令和5年6月21日～22日	測量・森林調査の基礎が入ったことにより移動 長期研修（車両系木材伐出機械特別教育座学）と会場がかぶらないよう配慮
6	高性能林業機械の操作	高性能林業機械の特性、安全な作業方法、搭乗型VRシミュレーターを使用した模擬操作	令和4年7月29日	令和5年7月10日	6月にある車両系木材伐出機械運転に係る特別教育の後に実施 研修生不在の日を選定
7	路網整備と作業システム（基礎）	路網整備の必要性、路網設計・作設方法・施工管理、路網と作業システム、ICT技術等	令和4年5月19日～20日	令和5年7月24日～25日	日程・会場がオープンキャンパスとかぶらないよう配慮
8	森林経営管理制度の実務（市町村対象）	森林経営計画制度・森林環境譲与税の概要、森林経営管理制度に係る市町村の事務、意向調査の実施計画作成、経営管理権集積計画作成、所有者探索業務	令和4年7月20日～21日	令和5年8月8日～9日	講師（県職員）が国主催の研修を受講してから開催できるよう、日程をR4より後ろ倒し。
9	森林経営管理制度の実務（林業事業者対象）	森林経営計画制度・森林環境譲与税の概要、森林所有者への意向調査、経営管理実施権の配分	令和4年8月10日	令和5年8月24日	同上
10	提案型集約化施業実践	提案型集約化施業の意義・進め方、目標林型と育林技術、集約化の実際、森林施業プラン作成、森林経営計画作成等	令和4年10月3日～6日	令和5年9月4日～7日	大学教授に講師を依頼するケースが多いことから、大学夏休み期間の8～9月に移動
11	伐倒技術のチェックと改善	伐倒作業時の労働災害防止に向け、チェーンソーによる安全かつ正確な伐倒技術を有する技術者を育成する。	令和5年1月30日～2月2日、 令和5年2月14日～16日 (全7日間)	令和5年9月12日～15日、 令和5年9月26日～28日 (全7日間)	R4実施の「安全な伐倒作業技術」について、研修目的に即した講座名に変更 日程は講師との調整の結果
12	最先端の林業技術	最先端の林業技術を知る（大型ドローンによる苗木運搬、3Dレーザーキャナを活用した森林調査、路網設計支援ソフトを使用した線形計画）	令和4年11月16日	令和5年10月31日	他に短期研修の無い期間
13	路網整備と作業システム（実践）	森林作業道作設の基礎、路網計画作成、森林作業道作設実習等	令和4年10月25日～28日から令和4年12月13日～16日に変更して実施	令和5年11月6日～9日	時期は継続（第3四半期）
14	森林・林業でのドローン活用	森林・林業でのドローン活用事例、航空法等の関係法令、ドローンの操縦方法、ドローンの基礎操縦・飛行撮影、オルソ画像作成	令和4年9月14日～16日	令和5年11月28日～30日	講義室・実習棟・野外実習スペース・PCなどが長期研修とかぶらないよう配慮 雷・雨の多い夏～秋を避けた
15	伐倒技術の指導者養成	R4「安全な伐倒作業技術」及びR5「伐倒技術のチェックと改善」の受講者を対象に、指導に必要な言語化等実習を行う。（新規講座）		令和6年1月16日～18日、 令和6年1月30日～2月1日 (全6日間)	日程は講師との調整の結果